

2022 年度 総合研究所特別研究員 研究活動報告

氏名	濱田 幸子
研究テーマ	『伊曾保物語』の成立についての研究 — 寓話部を取り上げて —
研究概要	『伊曾保物語』の寓話部を取り上げ、『伊曾保物語』のそれぞれの寓話とそれに対応する『イソポのハブラス』の寓話を比較し、話（筋）として異なる部分と、寓意として異なる部分を分析し、何が違うのかを考察する。さらに、それによって『伊曾保物語』の編集者（制作者）についても考察し、『伊曾保物語』の成立事情を明らかにしていきたい。

1. 研究活動の概要と研究成果	『伊曾保物語』の寓話部の特徴を『イソポのハブラス』の「イソポが作り物語の下巻」とシュタインヘーベル本『イソップ』の寓話部とを比較することによって明らかにし、『伊曾保物語』の編集者（制作者）について考察した。それによって、『伊曾保物語』の伝記部を取り上げることによって得た『伊曾保物語』の編集者がキリシタンからは距離を置いた日本人であろうことを再確認した。
2. 学術論文・学会発表等	単「『伊曾保物語』 寓話部の特徴についての考察」（研究ノート）『佛教大学総合研究所紀要』第 30 号、pp. 1-10、佛教大学総合研究所（2023 年 3 月、査読有） 単「今西祐行『一つの花』における「一つだけ」の持つ意味について」（研究ノート）『四天王寺大学紀要』第 71 号（2023 年 3 月、査読有） 単「為永春水『絵入教訓近道』についての考察——『伊曾保物語』のパロディー——」（論文）『日本文学』日本文学協会（現在掲載待ちの状態、査読有）
3. 今後の課題	『伊曾保物語』の伝記部を研究した際にあらたに課題として見えてきた、江戸時代に新たに出現した公事物語（裁判評定の物語）への『伊曾保物語』の影響について考察していきたい。